

# 職員向け駐輪ステッカー 発行業務縮小について

ファシリティケア

松浦 清二

# 業務改善のテーマにした理由

職員・出入り業者を含め自転車・バイク・自動車通勤者に対して、年度が替わる度に新規・更新に関わらず毎年、発行依頼に応じ駐輪ステッカーを発行していた。だが更新時期になると約3000件程の依頼が集中し、発行業務には多大な時間と労力が必要となっていた為、改善が必要であった。



# 取り組みのプロセス①

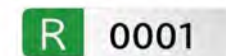
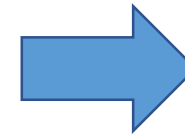
取り纏め及び発行業務はファシリティアケアが請け負っている事もあり、駐輪ステッカー発行時期になると通常業務に加え、発行業務が必要となる為、データの入力、発送作業に大きく時間を要する事が原因となり、作業を夜間当直帯に行うなど課員への負担が大きくなっていた。

**夜間当直帯にデータ入力から発行業務まで約4カ月ほどかかっていた。**



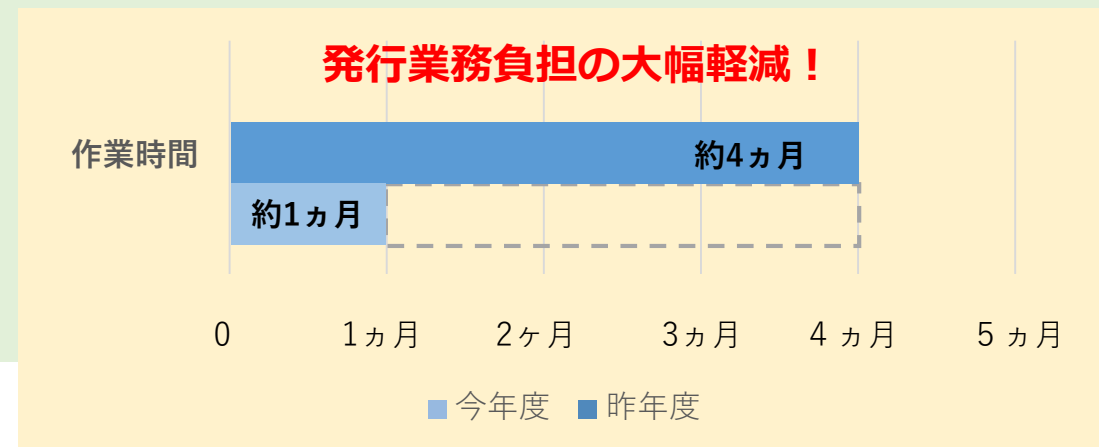
## 取り組みのプロセス②

発行についての必要性を改めて見直し、利用者进行管理する上では毎年ステッカーの発行が必ずしも必要でないとの判断に至り、更新分と自動車への発行を取りやめ、新規及び紛失などの再発行時のみ発行へと変更した。また年度が記載されていない、管理上必要な番号のみを記載した新たなデザインのステッカーを採用する事で、サイズも小さくなり貼りやすくした。



# 期待する効果、達成目標

発行枚数を大幅に減らし、ステッカーのサイズも小さくした事で、発行にかかっていた費用が年間約12万円から約3万円と1/4に削減。また発行枚数に至っては年間約3000枚→約300枚となり、1/10まで削減し、夜間当直帯などで行っていた発行業務が大幅に軽減された。



# まとめ・今後の展望

毎年更新発行していた駐輪ステッカー及び自動車への配布を廃止した事により、大幅な発行業務改善が行えた。

今回の廃止については、運用管理に影響を出す事なく行えた事が特に大きな成果となっている。またステッカー作成費用についても作成枚数が減った事に加え、サイズ及びデザインの変更を行った事により、大幅な削減に成功している。

今後もグループセッションを活用したWEB申請の導入など、より便利により利用しやすく改善を検討していきたい。